

〔X〕 寄贈圖書 俵 孫一，俵 國一共著「我が家の歴史」俵國一殿寄贈。東北電力株式会社編「東北電力と工場誘致」會社々長 内ヶ崎贊五郎殿寄贈 日本學術會議編「日本科學者總覽」日本學術會議殿寄贈

協議事項 〔I〕 秋季講演大會開催地及び期日決定の件 開催地—京都，期日 10月 17~18 (講演) 19~20 見學に決定。〔II〕 英文「鐵と鋼」内地配布先の件 名譽會員，維持會員，大學 (刊行物交換) 決定。〔III〕 關西支部規則變更に付その承認申出の件 承認。〔IV〕 昭和 28 年 3 月分收支決算審議の件 承認。〔V〕 入退會者その他會員移動に關する件 承認。

	名 譽	維	持	贊 助	正	學	計
昭和28年2月末數	10	118	538(口)	41	4,551	169	4,889
入 會 者					+ 56	+ 13	+ 69
退 會 者					- 9		- 9
死 亡					- 1		- 1
轉 格				+ 1	- 1		0
28 年 3 月末總數	10	118	538(口)	42	4,596	182	4,948

(474 よりつゞく)

98頁よりつゞく)

各種諸般に亘る研究設備等。圖書は約 10 萬冊あるが幸に戦災を免れた。本所は我國に於て最も輝かしい傳統，陣容及設備を持つてゐることは衆知のことである。研究の範圍は科學の基礎，應用に關する研究，中間工業試験等全般に關聯しており，名實とも優良な綜合研究所である。時間その他の關係から主として次の見學を行つた。

黒田研究室に屬する鋼製ピストリング，イオン加電壓金屬防蝕法，火焰燒入及熔着等，佐藤研究室に屬する變態應力の理論及實驗，飯高研究室では電子顯微鏡及電子

回析による耐蝕性金屬表面並びに触媒體の究明，大越研究室，材料の耐摩耗性，被削性試験及び仕上面粗さの測定等。

辻研究室 構造物の光彈性應力の測定。宮田研究室 アルマイトの利用及び性能試験。山崎研究室 26時のサイクロトロン，放射能の測定及マイントープ供給と原子の研究について見學した。

最後に坂田研究室に於て合成酒の改良研究を伺い，御自慢のゴク味を味つて午後5時散會した。黒田博士に厚く御禮を申上ぐ。(田畑農夫記)